

特定非営利活動法人 緑地雑草科学研究所 2025年6月発行

# ニュースレター 18号

## 目次

活動予告	1
会員投稿記事	2
編集後記	3



種を实らせるギンギン (2025.6 京都)

## 活動予告

### 書籍「クズ対策ハンドブック」刊行の予告

これからの夏秋季、日本列島はまさにクズに覆われた様相になります。クズ蔓延の進行に対応する形で、クズ関連の情報へのアクセスも急速に高まっています。

本法人が「草と緑」第10巻特別号として2018年に刊行いたしました「葛とクズ」は、昨年完売しました。「クズ対策ハンドブック」はその改訂版として、クズ対策に活用で

きる情報集となることを目的に編集しました。構成は以下の通りです。

7月中に刊行いたします。クズ対策に直接・間接に関係しておられる会員の皆様にご活用いただけますことを、心より期待しております。

(伊藤操子 監修者)

### 構成

序章 葛がクズになった歴史

第Ⅰ部 クズ対策の基礎

クズとはどんな植物か；クズ制御の考え方と手法；  
クズの社会・経済的被害とその対応

第Ⅱ部 クズの場面別問題と対策

耕作放棄地；鉄道；河川敷；道路；太陽光発電施設；造林地

資料編 クズ関係文献の紹介；クズを適用雑草とする除草剤一覧

## 雑草インストラクターと京大雑草学研究室との交流研修：実践と研究をつなぐ

### 宮崎敏治（雑草インストラクター担当理事）

9月中旬、全国の緑地管理の現場で活躍する雑草インストラクターを対象に、京都大学農学研究科の雑草学研究室を訪問する研修を予定しています。この取り組みは、現場での実践と最新の研究をつなぐ貴重な機会として企画しています。

雑草インストラクターは、公園や太陽光発電所、鉄道、工場緑地などの管理現場において、雑草との向き合い方を考え、よりよい景観や安全性、生物多様性の確保などを実現していく専門家です。その活動の中では、管理の効率化や化学薬剤の使用の是非、難防除雑草・外来種の扱いなど、多岐にわたる課題に直面しています。一方、京都大学の雑草学研究室では、雑草の適応戦略に関する基礎研究や防除技術に関する研究が日々行われています。

今回の研修は、研究室の実験施設・圃場の見学や学生による研究紹介を通して、学生たちがどのような方法で雑草の挙動や管理技術を探っているのかを知る機会となります。

さらに、インストラクター側からも、それぞれが日々の業務の中で直面している現場の課題や工夫、地域特有の問題などを共有し、研究の現場では得にくい「生きた情報」を提供します。最後には、学生とインストラクターが自由に意見を交わすディスカッションの時間も設ける予定です。

学生にとっては、自らの研究が将来どのように社会に活かされるのかを実感できる貴重な機会となり、研究へのモチベーション向上にもつながるでしょう。一方、インストラクターにとっても、日本の雑草学を牽引してきた研究室の取り組みを知ることは、最新知見を得るとともに、自らの活動の視野を広げる一助となります。

この研修は、雑草を通じて「現場」と「学術」が出会い、ともに学び合う貴重な場です。研究と実務が結びつくことで、持続可能な緑地管理の新たな可能性が広がることを期待しています。

[[  **会員投稿記事** ]] 
  
[[  **文献紹介** ]]

### 『農家が教える 厄介な雑草の叩き方 スギナ、クズなど、なるほど生態とかしこい対策』

(2025年1月発行) 農文協編 B5判 144頁 1,760円

昨年発行の同一タイトルの別冊現代農業が好評につき書籍化(内容はまったく同じ)。スギナ、クズをはじめとする難防除雑草たちの生態的特性とかしこい叩き方、初期除草の知恵(芽生え段階での対策)、草刈りのコツ、除草剤を使いこなすワザなど、わかりやすく解説した雑草対策本の決定版。春と秋の恒例の草刈りが、じつは無駄だった!? 雑草研究の大家、京都大学名誉教授の伊藤操子先生と「根っこ探検隊」を結成。



厄介な多年生雑草の本体である地下部を掘り出して恐るべき正体を暴きだし、豊富な写真とイラストで雑草たちの

生理・生態に基づく草刈りと除草剤のベストタイミングがあることをやさしく解きほぐす。(馬場裕一)

## 構成

### 雑草名さくいん

#### 厄介な多年生雑草 地下組織のたくらみを暴け!

- ・これがオレたち、多年生雑草の生き方さ
- ・農道の法面／野菜畑／畑まわり
- ・多年生雑草の本体見たり！ 根っこ探検隊がゆく  
(伊藤操子先生ほか)
- ・多年生雑草 地下部まるわかり図鑑  
(伊藤幹二先生イラスト)

#### 多年生雑草の叩き方

- ・刈り払い&除草剤のベストタイミングは?
- ・スギナ (浅井元朗先生ほか)

- ・クズなどのつる植物 (越智和彦さんほか)
- ・その他の難防除雑草
- ・アゼ・法面は覆っちゃえ

#### ことば解説

#### 厄介な一年生雑草

- ・ゴウシュウアリタソウ／アレチウリ／オヒシバ／ネズミムギ／ツユクサ

#### 田畑の雑草 防除事典

- ・雑草を知る、かしこく叩く (黒川俊二先生ほか)
- ・除草剤を使いこなす (村岡哲郎先生ほか)
- ・除草剤のRACコードによる分類一覧

## 編集後記・募集

連日、猛暑の報道も続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか?

ご存知の方も多いかと思いますが、今年6月より職場の熱中症対策が義務化されたこともあり、特に今年は熱中症対策について記載されたサイトを見かけます。これからの季節、雑草管理はなおのこと大変な重労働となりますので、皆様充分お気をつけください。

とは言え、気温が上がれば雑草の生育も旺盛となるためか、雑草管理に関しての問い合わせも増えてきています。また、ここ最近では福井県の土改連からの依頼にて、セイタカアワダチソウをはじめとした、農地まわりでの厄介な雑草駆除の手引書作成にも携わっています。今回紹介した書籍を含め、それぞれの地域での雑草管理の一助となれば幸いです。

さて、ニュースレターも今号の発行で18回目となりました。次回、第19号(9月刊行予定)に向けて、会員の皆さまのご協力を頂きたく、下記のコーナーへのご投稿をお願いする次第です。

- ・テーマ“困っている雑草”について、意見や技術情報など
- ・自由投稿：日頃の気づき、主張したいこと、技術・文献紹介等
- ・所属団体・企業の紹介

今号またはこれまでの記事についてのコメント、質問なども歓迎します。

ご連絡先：佐治健介 (k-saji@bousou-ken.org)

ページ編集：宮井駿 (京都大学雑草学研究室院生)